

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

大正橋

日付 平成 20年 8月 21日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験6年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「このホームの良い所ですか？さて、何があるでしょうか？これって直ぐには思いつきませんが、『なあ、なあ』とは違う意味で『病院とか施設とは違う、家庭的な、暖かくてやさしい雰囲気作り』を目指している所でしょうか？」

老舗旅館としての信頼や知名度を存続させながら、又他のグループホームにない物腰の柔らかさも伝統として残しているこのグループホームの代表は控えめにぼつぼつと語り始める。もう少しで設立2年目になろうとしているところだが、1年前の外部評価時からの変化には目を見張るものを感じさせる。昨年訪問時に確認したこのホームの特徴の一つである「利用者一人ひとりの尊重とその時その時の対応」が、確実に定着し、本物になっている事がその代表例と言えよう。全ての利用者の状況を述べるには紙面が足りないが、「毎月1回位はボートレース場への同行」でつもの思いを何とか納めている00さん。この人へのスタッフの支援の数々には驚くばかりだ。この人はカレンダーを何時も見ては、レースに行く日を決めて心を落ち着かせていると言う。喫煙も条件を決めて許可しているが、スタッフの気苦労と対策会議の記録は数知れない。身寄りがなく25年も持ち続けていたという奥さんの遺骨の永代供養にもこぎ付ける事が出来た。スタッフの熱意と励まし・導きで、荒んだような心と生活習慣にも変化が見られるようになった。何となくそわそわした目付きが感じられた昨年と違って、今日の00さんはこのホームにしっかりと馴染んで見えた。ホームビデオで懐メロを見入る彼の、ソファから投げ出した足がそれを感じさせていた。「家庭的な空気・自立を目指した暮らし」と“お兄さん”(施設総括)も熱く語っているが、認知症の母と共に家で長年暮らして来た私自身は「家庭では、とてもこうは出来なかった。ここだから実現出来る」と思ってしまった。家族の愛を凌ぐような“お母さん”(代表)には頭が上がらない00さんの「今の平穏で少しふくよかになった顔」を改めて眺めて、このホームの心意気に家族の立場として、本当にありがたい事と思った。

代表の家族の力に加えて、細やかな配慮と綿密なケアプラン・見直しに力を注いでいる頼もしい計画作成担当者、そして全職員の心が一つになって、同じ方向に向っている事も、きっと大きな原動力となっているのだろう。

特に改善の余地があると思われる点

「利用者さんの転倒・骨折、その他の入院もあって、大変な1年でした」と反省の言葉が聞かれたが、ケアサービス・運営体制等通して全般的にみると著しく体力をつけてきている感じがします。利用者・職員共、和気藹々の雰囲気も何われ、活発でその人らしさが一日でも長く発揮出来る為のメニューをもっと増やせたらと思います。自己決定・意思表示の例も、今以上に形にしてみても如何でしょうか。社会への参加もチャンスを見付けて活用したいと思います。今なら可能な事があるかも知れません。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：改善項目はないが、利用者の状況の変化に応じて、その都度目指すべき小目標を設定し、小まめに評価しあい、喜びに繋ぎたい。</p> <p>2、全体的に見て…：「どこに入れようかと思ったけど、ここは細やかに世話してくれると聞いてきた。その通りだった」と家族が話し、「今まで病院のような所に居ったけど、今、私はやっと此処に来て旅館に泊るとるんじゃ」と嬉しそうな利用者のお喋りの中からも、業務日誌や連絡ノートの記録の中からも、スタッフが目指している理念「家庭的な優しい雰囲気の中で、笑顔のある自立した暮らし、一人ひとりに満足して貰える暮らし」が実現している事がよく伺える。食事・排泄・入浴その他、日常生活の自立度も高く、しょっちゅうお出掛け出来ている現在の状況を一日でも長く持続させたい。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：改善出来る見通しは今の所ないが、表通りは車の交通量も多く、敷地も限られていて十分な広さは望めない中、知恵を絞って工夫を重ねてより良い空間を提供して行きたいと言う。</p> <p>2、全体的に見て…：居室は2・3階、台所・リビングルーム・風呂等は1階といった構造で、特別な配慮も多々必要だが、今の所大きな問題もない。皆それぞれに、個性的でありながら落ち着いた暮らしをしている。認知症の症状も軽く、身体状況も比較的良い人が多いだけに、主張する人も多い。自分の居場所をしっかりと確保したい状況の利用者の事も考えて、居間には数多くのソファやイスが置いてある。一箇所にじっとしている人は居なくて、家事を忙しくしている人、「自分のソファ」で横になる人等、様々で動きや流れが感じられて良い。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：例えば食事の献立作りや調理を通して少しでも利用者の希望を聞いた、自分で出来る事を増やして行こうとする改善案には大賛成だ。今の利用者の力はまだまだ発掘可能なものがあるかも知れない。「宝探し」を期待している。</p> <p>2、全体的に見て…：昨年程ではないが00さんはこのホームで「ケアハウスのような暮らし」を継続している。職員が自分の部屋に入るのも嫌い、不十分かも知れないが本人が掃除もしている。洗濯その他の家事も可能な限り「自分でやりたい」00さんを職員が出来るだけ手出しせず見守っている。家事は言うまでもないが、趣味を楽しむ支援もしている。塗り絵や紙細工の好きな人、「絵は苦手だけど習字なら」という人達には「習字の稽古の時間」を設定して壁に掲示している。和裁が上手い人も居て、着物をほどこ手つきは「さすが」と聞いた。このような調子で、それぞれが輝いて見える場面を、一つでも多く作っていきたい。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営推進会議は2ヶ月に1回、多くの出席者も得て確実に実施。それなりの成果をあげているが、開催場所や内容に今後変化を加えて、さらなる地域社会との交流を深めたいと言う。この会議の目的の一つに、このホームでのケアのあり方やグループホームでの暮らしの実態を、地域の人達により深く理解して貰う事もあると思うので、この項目の改善は是非実現して頂きたい。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者に対するケアの基盤はほぼ整い、現在の流れを注意深く推し進めていくのが良いと思う。地域社会との交流も順調に進んでいるようなので、家族との交流や協働に一歩足を踏み入れてみたい。又、将来的なビジョンとしての敷地内の建物等の有効利用は、このホームの利用者の活動の場も広がると思われるので、積極的な方向で検討して頂きたいと思う。</p>		